

短期研修レポート

本学学生のみならず、
留学生同士でも活発な交流が行われました。

1 台北医学大学(台湾)

[薬学部]

期間：8月1日(火)から28日(月)

台北医学大学薬学部の張 耀元さんが来日し、約4週間、本学薬学部で研修を行いました。研修ではアインファーマシーズ、JCHO札幌北辰病院、札幌東徳洲会病院等の学外施設訪問や、本学のオープンキャンパスを体験する等、様々なプログラムに参加しました。

8月25日(金)の報告会には、多くの教員やサポート学生が参加し、張 耀元さんとの別れを惜しんでいました。



左から張 耀元さん、和田 啓爾 薬学部長

[歯学部][看護福祉学部]

期間：7月3日(月)から14日(金)

台北医学大学歯学部及び看護福祉部の学生が本学を訪れ、約2週間の研修を行いました。

歯学部では、陳 亮潔さん、陳 裕雲さん、張 哲瑀さんの3名、看護福祉学部では、柯 亮卉さん、巫 函函さん、蔡 馨儀さん、陳 逸軒さん、嚴 紹維さんの5名が参加し、学内のみならず、学外の様々な施設にて研修を行いました。また、本学学生とともに講義を受講したり、昨年度台北医学大学の研修プログラムに参加した学生によるサポート等、学生交流においても大変有意義な研修となりました。



歯学部



看護福祉学部

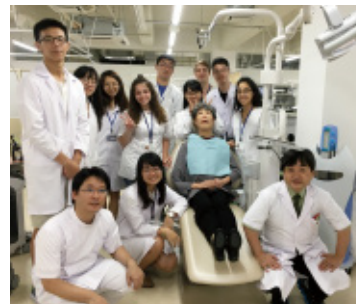
2 中山大学(中国)

[歯学部]

期間：7月11日(火)から8月4日(金)

中山大学より、晏 潼さん、許 劍萌さん、蔣 啓明さん、任 劍寒さんの4名が来日し、歯学部短期研修に参加しました。

研修は約4週間、本学歯学部5年生の臨床実習に参加したり、各研究室で実験を行ったりと充実した研修となりました。

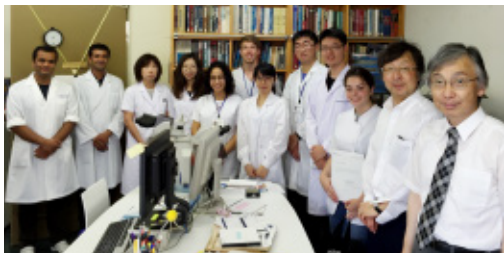


3 極東国立総合医科大学(ロシア)

[歯学部] 期間：7月10日(月)から7月21日(金)

極東国立総合医科大学のエリザヴェータ・スホベイさんが昨年引き続き本学の交換プログラムに参加し、約2週間歯学部にて研修を行いました。

研修初日には極東国立総合医科大学と本学との合同シンポジウムに参加し、母校の教授たちの講演に耳を傾けました。



4 ストラスブール大学(フランス)

[歯学部] 期間：7月3日(月)から9月15日(金)

フランスのストラスブール大学からManal Chkiliさんと Igor Kirchhoffさんが来日し、約2カ月半歯学部短期研修に参加しました。

本学滞在中は小児歯科学分野の齊藤正人教授の指導の下、マラッセ上皮遺残細胞を用いた基礎研究に従事していました。マラッセ上皮遺残細胞は、歯が形成される過程で分離された上皮で多能性を有することが報告されていますが、多能性の誘導過程は不明です。臨床試験中のアルツハイマー治療薬を添加することにより、マラッセ上皮遺残細胞の未分化間葉細胞マーカーが誘導されることが明らかになりました。これらの研究結果は、同分野の大学院生が引き継ぎ研究を行い発表する予定です。

研修期間中は研究活動だけではなく、ロシア、台湾、中国からの短期留学生と共に本学歯学部5年生の臨床実習への参加や大学院での研修等、充実したプログラムとなりました。



アルバータ大学(カナダ)語学研修レポート

8月5日(土)から25日(金)の21日間、12名の学生(看護福祉学部8名、薬学部1名、リハビリテーション科学部1名、歯学部附属歯科衛生士専門学校2名)がカナダのアルバータ大学語学研修プログラムに参加しました。

研修は午前中にアルバータ大学内で英語を学び、午後からは学内外で病院見学、福祉施設訪問、アルバータ州議事堂見学ツアー、トウモロコシ畑迷路、歴史村散策等様々なアクティビティを体験しました。2泊3日のロッキーツアーでは、壮大な自然の中で山登りやカヌーに挑戦し、カナダの大自然と美しい風景を大いに満喫しました。

カナダ滞在中、学生はカナダ人の家庭でホームステイをし、カナダの生活や料理、文化の違いを体験し、充実した3週間を過ごしました。

